



北海道自然観察協議会創立30周年記念 公開シンポジウム

自然を観る、伝える

11/7(土) 13:00~16:00(受付12:30~)

札幌市男女共同参画センター3階ホール
(北区北8条西3丁目〈札幌駅北口〉札幌エルプラザ内)

- 資料代：500円（会員は無料）
- どなたでも参加できます。当日、自由においでください。

北海道自然観察協議会は、日本自然保護協会の養成講習を受けた自然観察指導員の集まりです。身近な自然に目を向け、足元の不思議に気づくことから、環境を大切にすることが育つと考えています。創立30周年を迎え、北海道の自然の奥深さ、面白さを語り合い、生物多様性の大切さを伝えるとともに、改めて自然の観方、伝え方を見つめ直すシンポジウムを開きます。

記念講演（フォトトーク）「天売島の海鳥が地球を教えてくれた」



寺沢孝毅さん（自然写真家）

1960年、土別市生まれ。羽幌町天売島に小学教師として赴任し、海鳥の魅力にひかれてプロの自然写真家に。北海道を飛び出し、熱帯や北極圏から地球環境と生き物の「いま」を伝えている。今回は、自然の豊かさ、人との共生について、素晴らしい写真の数々とともに語っていただきます。

自然観察指導員の活動報告（札幌、伊達、旭川から）

- 荒井美和子さん（札幌市・平岡どんぐりの森代表）
- 安藤 忍さん（伊達市・洞爺湖有珠火山マイスター）
- 原田幸枝さん（旭川市・人と野生生物の関わりを考える会）



パネルディスカッション「自然観察から何が始まる？」

- 寺沢さんと活動報告をした3人の指導員による自然観察トーク
- コーディネーター：山本 牧（北海道自然観察協議会理事）



主催：北海道自然観察協議会／後援：北海道教育委員会、札幌市教育委員会、（公財）北海道環境財団、（公財）日本自然保護協会、（一社）北海道自然保護協会、日本野鳥の会札幌支部／協力：（公財）さっぽろ青少年女性活動協会

自然を観る、伝える

11/7(土) 13:00~16:00 (受付12:30~) 札幌市男女共同参画センター 3階ホール
(札幌市北区北8条西3丁目<札幌駅北口>札幌エルプラザ内)

●資料代：500円（会員は無料）
●どなたでも参加できます。
当日、自由においでください。

★北海道自然観察協議会とは

日本自然保護協会に登録された自然観察指導員からなるボランティア団体です。「自然をとつとび、自然に学ぶ」をモットーに、自然観察会活動を通して多くの人々と自然について語り、自然に親しみながら、自然と調和する方法を探し、このかけがえのない自然をより良い姿で子孫に残すことを目的に活動しています。1985(昭和60)年の発足以来、道民の自然への興味や関心の向上を図るため、全道各地で年間50回を超える観察会を開催しています。会員数約300名。

★観察指導員になるには

自然観察指導員は日本自然保護協会の養成プログラムを受け、登録が必要です。養成講習は1泊2日、観察会開催の実技や座学があります。北海道内ではほぼ2年に1回開かれており、今年6月に東川町で、その前は恵庭市で開かれました。

寺沢孝毅さん（自然写真家）プロフィール （守りたい生命プロジェクトHPより転載）

「天売島」発「地球」行き……

1960年、北海道士別市生まれ。

1982年4月、北海道教育大学を卒業後、希望して天売島にある羽幌町立天売小学校に教師として赴任。

1992年、天売島での10年間の教員生活の後に退職。そのまま天売島に住み着く。教員時代から続けてきた、絶滅危惧種のウミガラスをはじめとする海鳥の保護・調査を継続。そのかわり自然写真家としての活動を本格的に開始する。

1992年、ウミガラスの保護活動で北海道青少年科学文化振興賞受賞。

1999年に「海の宇宙館」を天売島に開設し、自身の写真を生かして天売島や地球環境の情報発信・展示を行う。

2006年、ウミガラスなどの長年にわたる鳥類保護で日本鳥類保護連盟会長賞を受賞。

2009年、守りたい生命プロジェクト有限責任事業組合（LLP 守りたい生命プロジェクト）を設立し、代表に就く。

取材地は、天売島はもちろんのこと、知床、ロシア、アラスカ、北極圏、ボルネオ島、西表島など多岐にわたり、熱帯から極地、海中から空までをカバーする。地球の随所で起きている環境変化や生物の生息環境の悪化に目を向ける。写真と音を使った講演活動「Photo&Sound Live」を全国展開し、撮影取材したことを学校や各種団体を通じて広く伝えている。

活動報告をする自然観察指導員の紹介

●荒井美和子さん

札幌市豊平区の湿原と森で、子供たちと遊びながら自然の楽しさに気づいてもらう活動、「平岡どんぐりの森」を主宰。

●安藤 忍さん

洞爺湖有珠火山マイスターとして、「笑いと教育」をテーマに、火の山と人との橋渡し役を務める。伊達市在住。

●原田幸枝さん

旭川・永山新川のハクチョウの餌付けや外来種定着の問題を、パネルシアターにしてわかりやすく解説している。



問合せ

北海道自然観察協議会事務局（池田）

Fax：011-708-6313 / E-mail：ecology@cocoa.ocn.ne.jp